

介護現場におけるICT環境の整備状況等に関する実態調査 概要

■ 目的

介護サービスを提供するための生産性向上（ICT活用や作成文書量の半減などにより事務負担を軽減、業務プロセスを改善）を念頭に、介護サービス施設・事業所における介護ICTの利用導入状況や導入にあたっての効果・課題等を把握することを目的とした。

■ 調査対象

調査対象と調査対象とする各サービスの発出数は以下のとおり。各サービスへ2,500発出（母集団が2,500施設・事業所未満の場合は悉皆調査とする）を基本としている。

| 調査対象施設・事業所 | 母集団※ | 標本・悉皆 | 発出数 |
|----------------------|--------|-------|-------|
| 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） | 8,127 | 標本 | 2,500 |
| 介護老人保健施設 | 4,281 | 標本 | 2,500 |
| 介護療養型医療施設 | 805 | 悉皆 | 805 |
| 介護医療院 | 236 | 悉皆 | 236 |
| 訪問介護 | 32,924 | 標本 | 2,500 |
| 訪問入浴介護 | 1,727 | 悉皆 | 1,727 |
| 訪問看護 | 12,013 | 標本 | 2,500 |
| 訪問リハビリテーション | 4,712 | 標本 | 2,500 |
| 通所介護 | 23,952 | 標本 | 2,500 |
| 地域密着型通所介護 | 19,271 | 標本 | 2,500 |
| 通所リハビリテーション | 8,147 | 標本 | 2,500 |
| 短期入所生活介護 | 10,648 | 標本 | 2,500 |
| 短期入所療養介護 | 3,811 | 標本 | 2,175 |
| 特定施設入居者生活介護 | 5,309 | 標本 | 2,500 |
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 966 | 悉皆 | 966 |
| 夜間対応型訪問介護 | 168 | 悉皆 | 168 |
| 認知症対応型通所介護 | 3,392 | 標本 | 2,500 |
| 小規模多機能型居宅介護 | 5,462 | 標本 | 2,500 |
| 認知症対応型共同生活介護 | 13,703 | 標本 | 2,500 |
| 地域密着型特定施設入居者生活介護 | 341 | 悉皆 | 341 |
| 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 | 2,362 | 悉皆 | 2,362 |
| 看護小規模多機能型居宅介護 | 595 | 悉皆 | 595 |
| 地域包括支援センター | 5,167 | 標本 | 2,500 |
| 居宅介護支援 | 39,228 | 標本 | 2,500 |

※令和元年9月審査分の介護報酬請求において令和元年8月にサービス提供があった介護サービス施設・事業所のうち、調査対象サービス以外のサービスを提供している介護サービス施設・事業所を除いた分を母集団名簿とした（地域包括支援センターを除く）。

※短期入所療養介護については、介護医療院併設分は悉皆で抽出した。

介護現場におけるICT環境の整備状況等に関する実態調査 概要

■ 調査方法

ウェブアンケート調査にて実施した。

※ただし、ウェブでの回答ができない施設・事業所に関しては、別途、郵送またはFAXでの回答も可能とした。

■ 調査期間

令和2年2月14～令和2年3月27日

■ 調査内容

調査内容（主な調査項目）は以下のとおり。

- ・ 施設・事業所の基本情報（開設主体、開設年月、定員数、併設サービス、職員体制、法人の売上高（問1）
- ・ ICT機器の導入状況（問2(1)）
- ・ 現場での利用者の状態やサービスの提供に関する情報の共有方法（問2(2)）
- ・ 介護ソフトの導入状況（問2(3)）
- ・ 介護ソフトを導入していない理由（問3(1)）
- ・ 介護ソフトの今後の導入予定（問3(2)）
- ・ 介護ソフトの利用上の効果（問4(1)）
- ・ BYODの利用許可の有無（問4(2)）
- ・ 介護ソフトの一气通貫の状況（問4(3)）
- ・ 居宅介護支援事業所と訪問介護事業所等のケアプランデータのやりとりについての標準仕様の認知度（問4(4)）
- ・ 介護ソフトの利用上の課題（問4(5)）
- ・ 介護ソフトの導入時の公的補助制度の活用状況（問4(6)）
- ・ 介護ソフトの導入数（問5(1)）
- ・ 介護ソフトのベンダー名（問5(2)）
- ・ 介護ソフトの契約開始時期（問5(3)）
- ・ 介護ソフトの（４）契約方式、契約形態（問5(4)(5)）
- ・ 介護ソフトの提供形態（問5(6)）
- ・ 介護ソフトの音声入力対応状況（問5(7)）
- ・ 介護ソフトの一气通貫の状況（問5(8)）
- ・ 介護ソフトを利用しているICT機器（問5(9)）
- ・ 介護ソフトの機能（問5(10)）
- ・ 介護ソフトに求める機能（問6）

介護現場におけるICT環境の整備状況等に関する実態調査 概要

■ 調査結果

【回収率】

27.9%

【調査結果の概要】

● 導入しているICT機器

- 「デスクトップパソコン」が最も多く、全てのサービス種類で5割超導入されていた。次いで「ノートパソコン」が多く、「訪問入浴介護」、「夜間対応型訪問介護」、「居宅介護支援」以外のサービス種類で5割超導入されていた。
- 「デスクトップパソコン」、「ノートパソコン」の導入率については、法人の売上高との間には関係性がみられ、多くのサービス種類で売上高が5千万以上の法人で導入率が8割を超えていたが、施設・事業所の職員の常勤換算人数との関係性はみられなかった。
- 「携帯電話」、「スマートフォン」、「タブレット端末」の導入率と施設・事業所の職員の常勤換算人数の間には関係性がみられ、常勤換算人数が多いほど導入する割合が高い傾向く、「タブレット端末」についてのみ法人の売上高が高い施設・事業所ほど導入率が高かった。

施設・事業所において導入しているICT機器



